

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

専門学校YICリハビリテーション大学校／山口県

【授業開始】 4月6日一般授業開始、
4月10日より自宅待機、
4月11日より遠隔授業開始

【期間】 4月11日～5月24日（状況により延期有）
1日平均4時間の授業を実施

【対象】 全学科（2学科4学年）/学科教育
理学療法学科：111名
作業療法学科：53名

【方法】 ノート型PC、プロジェクタ設置、
カメラを使用した同時双方向型授業

【内容】（スマートフォン対応可能）

- ・4月初旬より準備を開始
- ・Moodleを用いた課題・テスト形式
- ・Zoomを用いた遠隔授業（5月11日より実施）
- ・出欠確認、ホームルームを実施（学生の顔を確認）
- ・講師およびホワイトボードを撮影しながら講義
- ・講義資料・課題はMoodleにて事前配布
- ・Zoomにて適宜質疑応答を実施



【内容】（続き）

・両学科は厚生労働省の定める理学療法士作業療法士養成施設であり、原則、対面の教育となっているが、文部科学省通知より、今般の新型コロナウイルス感染症対策の一環で遠隔授業は対面授業に相当する教育効果を有すると認められた。

左記の学習手段を同時かつ双方向、質疑応答などによる指導を合わせ行い、生徒の意見の交換の機会が確保されていることを確認しながら、遠隔授業を実施している。